

横浜ゴム、水素ガス用ホースの展開を拡大

横浜ゴム（株）は、岩谷瓦斯（株）と共同開発した高圧水素ガス用ホース「ibar HG70」の2015年内からの本格的な販売開始を予定している。同ホースは国内各地の水素ステーションで実証実験を重ねながら使用されているが、今後2016年3月末までに建設が計画されている水素ステーションでも使用される予定。

横浜ゴムは2003年から独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、NEDO）事業の委託を受け、高圧水素ガス用ホースの開発に取り組んでいる。「ibar HG70」は、燃料電池自動車（FCV）に燃料の水素を充填するディスペンサー用ホースで、水素充填圧力70MPaに対応する。一般的な高圧水素ガス用ホースが使用している鋼線ではなく特殊合成繊維（特許取得済み）を補強層に採用しており、先に販売済みの35MPa用ホース「ibar HG35」の知見も踏まえて、軽量で柔軟性に優れたホースとなっている。

2014年5月、「水素及び燃料電池の自動車に関する世界技術規則（gtr）」の国内導入に伴い、高圧ガス保安法に基づく容器保安規則が改正され、国際基準と同等の87.5MPaでの水素充填が可能となった。それを受けて87.5MPaでの水素充填に対応する高圧水素ガス用ホースの使用が求められており、横浜ゴムはNEDOの委託事業*にて87.5MPa対応ホースの開発にも現在、積極的に取り組んでいる。また、米国や欧州でも水素ステーションの建設が進んでいることから、将来的には海外への展開も視野に入れている。

*事業名：水素利用技術研究開発事業／燃料電池自動車及び水素ステーション用低コスト機器・システム等に関する研究開発／水素ステーションの高圧水素用ホースとシールシステムに関する研究開発

「ibar HG70」は、2月25日（水）～27日（金）に東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される「第11回 国際水素・燃料電池展（FC EXPO2015）」において、岩谷産業（株）および水素供給・利用技術研究組合（HySUT）出展スペースで展示される。



「ibar HG70」



ディスペンサー用ホースとして使用

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：山下
TEL:03-5400-4531 FAX:03-5400-4570